Test-4-X

www.test-4-x.com/driving

United States • RMV Learner's Permit Exam

Massachusetts

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS	CHAPTERS	EDITION
72	8	2026-10-18

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

Disclaimer

This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.

Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.

This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 72 knowledge points • 8 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
support@test-4-x.com

Contents

01 Chapter 1: Obtaining Your License 1

02 Chapter 2: Safety First 4

03 Chapter 3: Keeping Your License 8

04 Chapter 4: Rules of the Road -1 12

05 Chapter 5: Rules of the Road -2 15

06 Chapter 6: Rules of the Road -3 19

07 Chapter 7: Rules of the Road -4 22

08 Chapter 8: Special Driving Situations 25

CHAPTER 1

Chapter 1: Obtaining Your License

1.1 ジュニアオペレーターライセンス（JOL）の同乗者および夜間運転の制限

マサチューセッツ州では、16歳半から18歳までのドライバーはジュニアオペレーターと見なされ、厳しい運転制限が課せられます。JOLを取得してから最初の6か月間、ジュニアオペレーターは、同乗者が近親者である場合を除き、18歳未満の乗客を乗せて運転することはできません。唯一の例外は、ジュニアオペレーターが21歳以上で、少なくとも1年の運転経験があり、助手席に座っている免許を持ったドライバーが同伴する場合です。さらに、すべてのJOL保持者は、親または法的保護者が同伴しない限り、午前12時30分から午前5時までの間の運転を禁止されています。

- ✓ 最初の6か月間、JOL保持者は、21歳以上で助手席に座っている免許を持ったドライバーが同伴しない限り、家族以外の18歳未満の乗客を乗せて運転することはできません。
- ✓ JOL保持者は、親または法的保護者が同乗していない限り、午前12時30分から午前5時までの間に自動車を運転することは許可されていません。

1.2 ジュニアオペレーターライセンス（JOL）違反に対する罰則

マサチューセッツ州法は、運転制限に違反したジュニアオペレーターに対して厳しい罰則を科しています。同乗者制限または夜間運転禁止のいずれかに初めて違反した場合、60日間の免許停止処分となります。これらの違反で2回目の違反を犯した場合、180日間の免許停止となり、ドライバー態度再訓練コース（Driver Attitudinal Retraining course）の受講が義務付けられます。スピード違反もJOL保持者には厳しい罰則が科され、初回の違反で90日間の免許停止、その後の違反では1年間の免許停止となります。

- ✓ JOLの同乗者制限または夜間制限に初めて違反した場合の罰則は、60日間の免許停止です。
- ✓ JOL保持者が初めてスピード違反を犯した場合の罰則は、90日間の免許停止です。
- ✓ 同乗者制限または夜間制限に2回目の違反を犯した場合、180日間の免許停止となり、ドライバー態度再訓練コース（Driver Attitudinal Retraining course）の受講が義務付けられます。

1.3 ジュニアオペレーターライセンス（JOL）の取得要件

マサチューセッツ州でジュニアオペレーターライセンス（JOL）を取得するためには、16歳半から18歳までの申請者はいくつかの主要な要件を満たす必要があります。無事故・無違反の運転記録を維持し、少なくとも連続6か月間有効な学習者用許可証を保持している必要があります。また、30時間の学科教習、12時間の路上訓練、6時間の同乗観察を含む、RMV承認の運転教育プログラムを修了しなければなりません。最後に、親または保護者は、申請者が少なくとも40時間の追加の監督付き運転を完了したことを証明する必要があります。

- ✓ 申請者は、JOLの路上試験を受ける前に、少なくとも連続6か月間有効な学習者用許可証を保持している必要があります。
- ✓ 申請者は、RMV承認の運転教育プログラムと、少なくとも40時間の監督付きの路上運転を完了する必要があります。
- ✓ JOL申請者の親または保護者は、運転教育カリキュラムに関する2時間の講習に参加する必要があります。

1.4 マサチューセッツ州の免許における最低年齢と居住要件

マサチューセッツ州で合法的に車両を運転するには、特定の年齢および居住要件を満たす必要があります。乗用車（クラスD）の学習許可証を申請するには、16歳以上でなければなりません。ジュニアオペレーターライセンス（JOL）を取得するための最低年齢は16歳半です。他の州で有効な許可証や免許を所持していても、16歳未満の者がマサチューセッツ州で運転することは違法です。さらに、マサチューセッツ州の運転免許証は、州（Commonwealth）の居住者にのみ発行されます。

- ✓ クラスDの学習許可証を申請するための最低年齢は16歳です。
- ✓ 16歳未満の者は、他の州での免許の有無にかかわらず、マサチューセッツ州で合法的に運転することはできません。
- ✓ マサチューセッツ州の居住者になった場合、猶予期間はないため、直ちにマサチューセッツ州の運転免許証を取得しなければなりません。

1.5 マサチューセッツ州運転免許証の視力要件

マサチューセッツ州の運転免許証を申請するすべての人は、RMV（車両登録局）での視力検査に合格するか、検眼医からの証明書を提出する必要があります。完全なクラスDまたはMの免許の基準は、良い方の目で（矯正レンズの有無にかかわらず）視力が20/40以上、かつ水平視野が120度以上であることです。この基準を満たすためにメガネやコンタクトレンズが必要な場合、免許証には「B」の制限が付され、運転中は常に法的にそれらを着用することが義務付けられます。

- ✓ 完全な免許を取得するためには、良い方の目の視力が20/40以上であり、かつ水平視野が120度以上でなければなりません。
- ✓ 視力検査に合格するために矯正レンズが必要な場合、免許証には「B」の制限が付き、運転中はメガネまたはコンタクトレンズを着用しなければなりません。

1.6 未成年者のための保護者の同意と免許証の形式

マサチューセッツ州では、18歳未満の学習許可証または運転免許証の申請者は、親または法定後見人からの書面による同意を得る必要があります。これは、親または後見人が申請書に署名することによって行われます。21歳未満の個人に発行されるすべての免許証とIDカードは、法執行機関などが法定飲酒年齢未満であることを容易に識別できるように、縦長の形式で印刷されます。

- ✓ 18歳未満の申請者は、許可証または免許証を取得するために、親または法定後見人からの書面による同意を得る必要があります。
- ✓ 21歳未満の人に発行される運転免許証は縦向きです。

1.7 免許のクラスと州外での運転権

マサチューセッツ州で最も一般的な運転免許はクラスDで、乗用車、バン、小型トラックを運転することができます。オートバイにはクラスM免許が必要です。他の州の米国居住者で16歳以上であれば、有効な州外の免許を使用してマサチューセッツ州で運転することができます。ただし、同時に複数の州で運転免許を保持することはできません。

- ✓ クラスD免許は、乗用車やSUVなどの標準的な乗用車を運転するためのものです。
- ✓ 16歳以上の米国居住者は、出身州の有効な運転免許を使用してマサチューセッツ州で運転することができます。
- ✓ 同時に複数の州で有効な運転免許を保持することは違法です。

CHAPTER 2

Chapter 2: Safety First

2.1 マサチューセッツ州のシートベルト着用義務法

マサチューセッツ州の法律では、乗用自動車に乗車するすべての人は、シートベルトを着用するか、適切なチャイルドシートで体を固定することが義務付けられています。これは主要な安全法であり、違反した場合は運転手または成人の同乗者に罰金が科されることがあります。この法律は、乗用車、バン、小型トラックに適用されます。

- ✓ 運転手はシートベルトを着用していない場合、25ドルの罰金が科されることがあります。
- ✓ 運転手はまた、12歳、13歳、14歳、または15歳の同乗者が適切にシートベルトを着用していない場合、同乗者一人につき25ドルの罰金が科されることがあります。
- ✓ 16歳以上の同乗者は、シートベルトを着用していない場合、直接25ドルの罰金が科されることがあります。

2.2 チャイルドシート（児童乗員拘束装置）法

マサチューセッツ州には、最年少の乗員を保護するための特定の法律があります。乳幼児は、特定の年齢または身長の要件を満たすまで、連邦政府が承認したチャイルドシート（児童乗員拘束装置）に乗せなければなりません。子供にとって最も安全な場所は、常に後部座席です。

- ✓ 子供は、8歳以上になるか、身長が57インチ以上になるまで、チャイルドシートを使用しなければなりません。
- ✓ チャイルドシート法の違反に対する罰金は25ドルです。
- ✓ 乳児用シートは後部座席に設置し、車両の後方を向くようにしなければなりません。

2.3 成人ドライバー（18歳以上）のためのハンズフリー法

マサチューセッツ州では、18歳以上のドライバーが運転中に携帯電子機器を手に持って使用することは違法です。機器はハンズフリーモードでのみ使用可能で、適切に設置されている必要があります。赤信号や一時停止標識で停止中に手で機器を使用することも違法です。

- ✓ 18歳以上のドライバーは、携帯電子機器を「ハンズフリー」モードでのみ使用できます。
- ✓ 車両が公衆用車線にいる間は、信号で停止している場合でも、手で持って使用することは禁止されています。
- ✓ 初回の違反に対する罰金は100ドルです。

2.4 若年運転者に対する携帯電子機器のゼロ・トランス（不寛容）法

マサチューセッツ州では、18歳未満の運転者による携帯電子機器の使用に関して、厳格な「ゼロ・トランス」方針を定めています。運転中は、手で持っての使用かハンズフリーでの使用かを問わず、いかなる使用も禁止されています。これは若年運転者免許（JOL）の重要な規則です。

- ✓ 18歳未満の運転者は、理由を問わず、運転中にいかなる携帯電子機器も使用することが禁止されています。
- ✓ 若年運転者が携帯機器を使用できる唯一の例外は、緊急事態を報告する場合です。

2.5 安全な車間距離の維持

防衛運転の重要な原則は、自分の車の周りに安全な空間（スペースクッション）を保つことです。「3秒ルール」は、良好な運転条件下で前の車との安全な車間距離を維持するための標準的な方法です。あおり運転（テールゲーティング）は違法であり、危険です。

- ✓ 「3秒ルール」に従うには、前の車が特定の目標物を通過してから、少なくとも3秒後に自分がその目標物を通過するようにします。
- ✓ オートバイの後ろを走行する場合は、より多くのスペース、少なくとも4秒の間隔を空ける必要があります。
- ✓ あおり運転は違法であり、最高100ドルの罰金が科される可能性があります。

2.6 乗用車に義務付けられている安全装備

マサチューセッツ州で合法的に運転するためには、すべての乗用車に特定の機能する安全装備が備わっている必要があります。これには、視認性、ブレーキ、乗員保護に不可欠な項目が含まれます。これらの項目は、年次車両検査でチェックされます。

- ✓ すべての乗用車には、運転手とすべての同乗者のために作動するシートベルトが必要です。
- ✓ 車両にはフットブレーキと独立したパーキングブレーキが必要です。
- ✓ 必要なライトには、2つの白色ヘッドライト、2つの赤色テールライト、方向指示器、3つの赤色ストップ（ブレーキ）ランプ、および後部ナンバープレート用の白色ライトが含まれます。

2.7 補助安全システムとしてのエアバッグ

エアバッグは、シートベルトに取って代わるものではなく、シートベルトと連動して機能するように設計されています。主に正面衝突時に追加の保護を提供します。安全を確保するため、運転手と同乗者はダッシュボードから安全な距離を保ち、子供は常に後部座席に固定する必要があります。

- ✓ エアバッグは、シートベルトの代用品としてではなく、シートベルトと連動して機能するように作られています。
- ✓ 後ろ向きのチャイルドシートに乗っている乳幼児は、助手席エアバッグのある車両の助手席に決して座らせてはいけません。
- ✓ 運転手は、安全な運転に支障がない範囲で、座席をハンドルからできるだけ後ろに移動させるべきです。

2.8 車内での禁止されている注意散漫行為と障害物

ドライバーが道路に完全に集中できるよう、マサチューセッツ州法は車内での特定の物品や行動を禁止しています。これには、ドライバーの視界を遮ったり、緊急サイレンのような重要な音を聞き取るのを妨げたりするものがすべて含まれます。

- ✓ 運転中にヘッドセット、ヘッドフォン、またはいずれかの両耳を覆う装置を着用することは違法です。
- ✓ 18歳以上のドライバーは、携帯電話での通信のために片耳イヤホンの使用が許可されています。
- ✓ ドライバーの明確な道路の視界を妨げる場合、フロントガラス、ダッシュボード、またはバックミラーに物を置いたり、吊るしたりすることはできません。

2.9 携帯端末の違反に対する段階的罰則

マサチューセッツ州における携帯端末関連法の違反に対する罰則は、違反を繰り返すたびに厳しくなります。常習違反者はより高額の罰金を科され、注意散漫運転に関する教育プログラムの受講が義務付けられます。

- ✓ 初回の違反に対する罰則は、100ドルの罰金です。
- ✓ 2回目の違反に対する罰則は、250ドルの罰金に加え、注意散漫運転に関する教育プログラムの受講義務です。
- ✓ 3回目以降の違反に対する罰則は、500ドルの罰金、保険料の割増、および当該教育プログラムの受講です。

2.10 タイヤの溝の深さに関する法的要件

安全のため、乗用車のタイヤは、特に悪天候時に路面をグリップするのに十分な溝の深さが必要です。摩耗したタイヤでの運転は違法です。これをチェックする簡単な方法は「ペニーテスト」です。

- ✓ タイヤの溝の深さは、適切な溝で最低2/32インチなければなりません。
- ✓ タイヤの溝にペニー（1セント硬貨）を差し込み、リンカーンの頭の上部が見える場合、そのタイヤは法的に摩耗しており、交換する必要があります。

2.11 総停止距離の理解

車両を完全に停止させるために必要な総距離は、ほとんどの人が考えるよりもはるかに長いです。これは、反応距離（ブレーキを踏むまでに進む距離）と制動距離の組み合わせです。この距離は速度とともに劇的に増加し、重い車両ほど長くなります。

- ✓ 時速60マイルでは、総停止距離はフットボール競技場の長さ（約292フィート）にほぼ匹敵します。
- ✓ 大型トラックは、乗用車の2倍の停止距離を必要とする場合があります。
- ✓ 濡れている、または滑りやすい路面では、総停止距離はより長くなります。

2.12 マサチューセッツ州自動車登録局（RMV）の免許および試験手数料

マサチューセッツ州自動車登録局（RMV）は、学習者用許可証試験や路上試験などのサービスに対して特定の手数料を請求します。これらの手数料は返金不可であり、受験ごとに支払う必要があります。例えば、学習者用許可証試験や路上試験に不合格となった場合、再受験するには再度手数料を支払わなければなりません。

- ✓ 学習者用許可証試験の手数料は30.00ドルです。
- ✓ 路上試験の手数料は35.00ドルです。
- ✓ 路上試験に不合格となった場合、試験に出席しなかった場合、または72時間前までにキャンセルしなかった場合は、再度35ドルの手数料が請求されます。

2.13 ナンバープレートの視認性に関する要件

車両のナンバープレートは、常に清潔で、判読可能で、適切に表示されている必要があります。いかなる物体によっても覆い隠されてはならず、登録ステッカーは正しい位置に貼付されている必要があります。

- ✓ 夜間に60フィートの距離からナンバープレートの番号が視認できなければなりません。
- ✓ 登録ステッカーは、プレートの右上隅にのみ貼付してください。

CHAPTER 3

Chapter 3: Keeping Your License

3.1 追加料金対象事象と免許停止

マサチューセッツ州では、運転記録には交通違反と過失事故の両方が記録され、これらは総称して「追加料金対象事象（surchargeable events）」として知られています。特定の期間内にこれらの事象が多すぎると、義務的な免許停止やその他の罰則につながります。車両登録局（RMV）は、高リスクの運転手を特定するためにこれらの事象を自動的に追跡します。

- ✓ 2年以内に3回の追加料金対象事象を累積した場合、90日以内に運転者再訓練コースを修了する必要があり、さもなければ免許が停止されます。
- ✓ 3年以内に7回の追加料金対象事象を累積した場合、自動的に60日間の免許停止となります。
- ✓ 「過失あり」の事故は、保険会社があなたの過⊠が50%を超えると判断し、損害や負傷に対して1000ドル以上を支払った場合に、追加料金対象事象と見なされます。
- ✓ 5年間に3回の重大な交通違反または合計12回の違反を犯した運転手と定義される「常習的交通違反者（Habitual Traffic Offender）」は、4年間の免許停止に直面します。

3.2 ジュニアオペレーター（JOL）のスピード違反に対する罰則

マサチューセッツ州車両登録局（RMV）は、スピード違反で有罪判決を受けたジュニアオペレーター（18歳未満のドライバー）に対して、非常に厳しい罰則を科しています。これらの罰則は成人ドライバーのものよりもはるかに重く、新規ドライバーの危険な運転習慣を抑制することを目的としています。一度のスピード違反有罪判決でも、JOL保持者には重大な結果がもたらされます。

- ✓ 最初のスピード違反有罪判決により、ジュニアオペレーターは90日間の義務的な免許停止処分を受けます。
- ✓ 2回目以降のスピード違反有罪判決により、ジュニアオペレーターは1年間の義務的な免許停止処分を受けます。
- ✓ 免許停止に加え、スピード違反で有罪となったJOL保持者は、運転態度再訓練コースを修了しなければならず、州裁判所によるロードレイジ対策（SCARR）コースの受講を要求される場合もあります。
- ✓ スピード違反で有罪判決を受けた後、JOL保持者は免許を再取得するために、学習者許可証試験と新しい路上試験を再受験しなければなりません。

3.3 ジュニアオペレーター（JOL）の同乗者および夜間運転制限違反に対する罰則

ジュニアオペレーターは、特定の同乗者および夜間運転の制限を遵守しなければなりません。これらの規則に違反することは重大な違反であり、有罪判決ごとに罰則が重くなります。初回の違反は免許停止となり、その後の違反はより長期の免許停止と義務的な再訓練につながります。

- ✓ JOLの同乗者または夜間運転制限に違反して初めて有罪判決を受けた場合、60日間の免許停止処分となります。
- ✓ これらの制限に違反して2回目の有罪判決を受けた場合、180日間の免許停止処分となり、運転態度再訓練コース（Driver Attitudinal Retraining course）の修了が義務付けられます。
- ✓ 3回目以降の有罪判決を受けた場合、1年間の免許停止処分となり、運転者は仮免許を再申請し、新しい路上試験に合格する必要があります。

3.4 刑事罰の対象となる運転違反と罰則

特定の自動車違反は、民事違反ではなく刑事犯罪と見なされます。これには、影響下運転（OUI）、事故現場からの逃走、自動車による過失致死が含まれます。有罪判決が下されると、長期の免許停止、罰金、および懲役刑の可能性を含む厳しい罰則が科されます。OUIによる免許停止期間は、違反を重ねるごとに大幅に長くなります。

- ✓ OUI（アルコールまたは薬物）による初回の有罪判決は、1年間の免許停止となります。
- ✓ OUIによる5回目の有罪判決は、生涯にわたる免許取消しとなります。
- ✓ 負傷者がいる事故現場から逃走した場合、1年から2年間の免許停止となります。
- ✓ 自動車による過失致死は、15年から生涯にわたる免許取消しの罰則が科されます。

3.5 ジュニアオペレーター（JOL）の携帯電子機器に関する罰則

マサチューセッツ州法は、ジュニアオペレーター（Junior Operators）が理由の如何を問わず、運転中に携帯電子機器を使用することを固く禁じています。初回の違反に対する罰則は厳しく、罰金、免許停止、義務的な再トレーニングコースと再試験が含まれます。

- ✓ JOLが携帯機器を使用して初回違反を犯した場合、100ドルの罰金、60日間の免許停止、および運転姿勢再トレーニングコース（Driver Attitudinal Retraining course）の修了が義務付けられます。
- ✓ 2回目の違反では、250ドルの罰金と180日間の免許停止が科せられます。
- ✓ 3回目以降の違反では、500ドルの罰金と1年間の免許停止が科せられます。
- ✓ 初回違反後、JOLは免許を回復するために、学習者許可試験を再受験し、新しい路上試験に合格しなければなりません。

3.6 速度超過の罰金と作業区域での罰則

マサチューセッツ州には、速度超過の罰金を計算するための特定の計算式があります。罰則は基本額から始まり、特定の基準値を超えると時速1マイルごとに加算されます。高速道路の作業員を保護するため、指定され標識が設置された作業区域での速度超過は、罰金が大幅に増額されます。

- ✓ 速度超過違反の最低罰金額は105ドルです。
- ✓ 制限速度を時速10マイル以上超えて運転した場合、その最初の時速10マイルを超えた分について、1マイルごとに10ドルの追加罰金が科せられます。
- ✓ 標識が設置された作業区域での速度超過に対する罰金はすべて2倍になります。
- ✓ 18歳以上のドライバーが12ヶ月以内に3回の速度超過違反で有責と判断された場合、30日間の免許停止処分となります。

3.7 ジュニアオペレーター（JOL）のドラッグレースに対する罰則

ドラッグレースは、特にジュニアオペレーターにとって、非常に危険で重大な違反と見なされます。罰則は厳しく、長期の免許停止、高額な罰金、および無謀な運転行動を改善するための義務的な教育コースが含まれます。

- ✓ ドラッグレースで初めて有罪判決を受けたジュニアオペレーターは、1年間の免許停止と500ドルの免許再交付手数料が科せられます。
- ✓ ドラッグレースで2回目以降の有罪判決を受けたジュニアオペレーターは、3年間の免許停止と1000ドルの免許再交付手数料が科せられます。
- ✓ JOL保持者がドラッグレースで有罪判決を受けた場合、学習者許可試験の再受験、新しい路上試験、および運転態度再訓練コース（Driver Attitudinal Retraining course）の修了がすべて必要となります。

3.8 一般自動車交通違反 (CMVI)

一般自動車交通違反（CMVI）とは、交通信号の無視など、刑事罰の対象とならない違反のことです。CMVIの違反切符を受け取った場合、罰金を支払うか、異議を申し立てるために裁判所の審理を要請することで、限られた期間内に対応する必要があります。対応を怠ると、深刻な結果を招きます。

- ✓ 違反切符を受け取ってから20日以内に、CMVIに対する罰金を支払うか、審理を要請しなければなりません。
- ✓ 20日以内に対応しない場合、自動的に責任があると見なされ、高額の延滞金が課され、免許が停止されます。
- ✓ 違反切符に異議を申し立てるために審理を要請するには、25ドルの裁判所申立手数料を支払う必要があります。
- ✓ CMVIの罰金を支払うことは責任を認めることであり、その違反は保険料割増しの対象となる事象として運転記録に追加されます。

3.9 偽造ID使用に対する罰則

マサチューセッツ州では、運転に関係がない場合でも、偽造または改ざんされた免許証やIDを使用することは重大な違反です。RMV（車両登録局）は、偽造IDの製造、販売、使用、または他人のIDを自分のものとして使用した場合に、あなたの運転資格を停止することができます。

- ✓ RMVは、裁判所の有罪判決がなくても、偽造ID違反に対して6か月間免許を停止することができます。
- ✓ 偽造ID違反で裁判所から有罪判決を受けた場合、RMVは1年間免許を停止することができます。
- ✓ 違反行為には、免許証の改ざん、偽造IDの作成または使用、他人の免許証の使用が含まれます。

CHAPTER 4

Chapter 4: Rules of the Road -1

4.1 マサチューセッツ州の基本速度法

マサチューセッツ州で最も重要な速度規則は基本速度法です。これは、現在の状況に対して合理的かつ適切とされる速度を超えて運転してはならないと定めています。この法律は、掲示されている制限速度よりも優先されます。速度は、交通状況、道路状況（氷や水たまりなど）、天候、歩行者や自転車の有無に応じて常に調整しなければなりません。

- ✓ 掲示されている制限速度に関わらず、安全でないほど速く走行してはなりません。
- ✓ 交通量の多い場所、悪天候、または路面が荒れている場所など、悪条件下では速度を落とさなければなりません。
- ✓ 掲示されている制限速度を下回っていても、状況に対して速すぎると判断された場合、速度違反で切符を切られることがあります。

4.2 マサチューセッツ州の法定速度

速度制限の標識がない場合は、法定速度に従わなければなりません。これらは特定の種類の地域におけるデフォルトの制限速度です。「密集市街地」とは、1/4マイル以上の距離にわたって建物の間隔が200フィート未満である地域のことです。これらのデフォルトの速度を知っておくことは、試験にとって非常に重要です。

- ✓ スクールゾーンでの制限速度は時速20マイルです。
- ✓ 密集市街地または商業地区での制限速度は、特に標識がない限り時速30マイルです。
- ✓ 密集市街地外の幹線道路での制限速度は時速50マイルです。
- ✓ 密集市街地または商業地区外の道路での制限速度は時速40マイルです。

4.3 赤色および黄色の交通信号の理解

赤色および黄色の交通信号は、停止と停止の準備を制御します。赤色の点灯は完全停止を意味します。赤色の点滅は、STOP（止まれ）標識と全く同じ扱いです。黄色の点灯は、信号が間もなく赤に変わるという警告であり、安全に停止できる場合は停止しなければなりません。

- ✓ 赤色の円の点灯は「停止」を意味します。「NO TURN ON RED」（赤信号時右折禁止）の標識が掲示されていない限り、完全に停止して道を譲った後、赤信号で右折することができます。
- ✓ 赤色の円の点滅は、STOP（止まれ）標識と同じ意味です。完全に停止し、安全な場合にのみ進行してください。
- ✓ 黄色の円の点灯は、信号が赤に変わることを意味します。安全であれば停止しなければなりません。
- ✓ 赤信号での左折は、一方通行の道路を走行中、別の一方通行の道路に曲がる場合に限り、完全停止した後に行うことができます。

4.4 色による交通標識の識別

交通標識の色は、その意味を即座に知る手がかりとなります。赤は停止または禁止の標識に使用されます。黄色は一般的な警告用です。黒と白の標識は規制標識であり、法律を定めています。オレンジ色は建設およびメンテナンスの警告専用です。

- ✓ 赤い標識は停止または禁止（例：STOP（止まれ）、DO NOT ENTER（進入禁止））のために使用されます。
- ✓ 黄色または蛍光の黄緑色の標識は、スクールゾーンや歩行者ゾーンを含む一般的な警告に使用されます。
- ✓ オレンジ色の標識は、建設またはメンテナンス作業区域を示します。
- ✓ 青い標識は、ガソリン、食事、宿泊施設などの運転者向けサービスを示します。

4.5 「止まれ」(STOP) および「ゆずれ」(YIELD) 標識の規則

「止まれ」(STOP) および「ゆずれ」(YIELD) 標識は、優先通行権を管理する重要な規制標識です。「止まれ」標識では、停止線または横断歩道の手前で完全に停止する必要があります。「ゆずれ」標識は、速度を落とし、他の交通に優先通行権を譲らなければならないことを意味し、必要な場合にのみ停止します。四方向一時停止の交差点では、最初に到着した車両が優先されます。

- ✓ 「止まれ」標識では、完全に停止しなければなりません。単に速度を落とすだけでは不十分です。
- ✓ 「ゆずれ」標識では、速度を落とし、停止する準備をし、他の車両、自転車、歩行者を先に行かせてから進行しなければなりません。
- ✓ 「止まれ」標識に「4-WAY」または「ALL WAY」の補助標識が追加されている場合、交差点に進入するすべての車両は停止しなければならず、最初に到着した車両が優先通行権を持ちます。

4.6 歩行者に対するドライバーの責任

ドライバーは歩行者を保護するために特別な注意を払わなければなりません。法律では、横断歩道にいる歩行者に道を譲ることが義務付けられています。横断歩道を塞いだり、歩行者のために停止した車両を追い越したりしてはいけません。歩行者の横断をドライバーに警告するために、特殊な点滅標識が使用されます。

- ✓ 進行方向の横断歩道に進入または利用している歩行者には、道を譲らなければなりません。
- ✓ 歩行者のために停止または減速している車両を追い越してはいけません。
- ✓ 長方形の高速点滅標識（黄色の点滅灯）が作動している場合は、横断歩道にいる歩行者のために停止しなければなりません。
- ✓ 交通信号機が作動していない（消灯している）場合、その交差点は四方向一時停止として扱われるべきです。

4.7 緑信号と黄色の点滅信号の理解

緑信号と黄色の点滅信号は、条件付きで通行を許可します。緑色の点灯信号は「進め」を意味しますが、交差点内にすでにいる車両や歩行者に道を譲った後に限ります。緑色の矢印は「保護された」ターン（右左折）を意味します。黄色の点滅矢印は、対向車に道を譲らなければならない「許容された」ターン（右左折）を示します。

- ✓ 緑色の円形信号は「進め」を意味しますが、まず道路上の他の車両、自転車、または歩行者に道を譲らなければなりません。
- ✓ 緑色の点灯信号で左折する場合、対向車に道を譲らなければなりません。
- ✓ 緑色の矢印は、対向車が停止しているはずなので、矢印の方向に「保護された」ターンができることを意味します。
- ✓ 黄色の点滅矢印は、対向車と歩行者に道を譲った後に曲がることができることを示します。

4.8 踏切での安全

踏切では安全のために特定の行動が求められます。円形の黄色い標識は、前方に踏切があることを警告します。踏切で警報灯が点滅し始めたり、遮断機が下りてきたりした場合は、安全な距離を保って停止し、列車が完全に通過するのを待たなければなりません。

- ✓ 踏切の警報灯が点滅し始めたら、信号柱または遮断機の手前、少なくとも15フィートの地点で停止しなければなりません。
- ✓ 遮断機が完全に上がり、警報灯の点滅が止まるまで停止し続けなければなりません。
- ✓ 決して下りている遮断機を迂回して運転したり、踏切の点滅する警報灯を無視したりしないでください。

4.9 道路工事区域の通行方法

オレンジ色の標識で示される工事区域は、速度を落とし、注意力を高める必要がある危険なエリアです。警察官または民間の交通誘導員の指示は、他のすべての標識、信号、または路面表示よりも優先されます。

- ✓ 工事区域に近づく際は、速度を落とし、道路の変化に備えなければなりません。
- ✓ 工事区域内では、常に交通整理員または民間の交通誘導員の指示に従わなければなりません。
- ✓ 工事区域の始まりは、オレンジ色の警告標識または電光掲示板で示されます。

CHAPTER 5

Chapter 5: Rules of the Road -2

5.1 優先通行権の原則

優先通行権のルールは、標識や信号で制御されていない交通状況において、誰が先に進むべきかを決定するためのガイドラインです。これらのルールは、思いやりと安全に基づいています。優先通行権とは、衝突を避けるために運転者が他者に譲るものであり、奪い取れる権利ではないことを理解することが極めて重要です。

- ✓ 優先通行権は、譲るものであり、奪うものではありません。
- ✓ 他の運転者が優先通行権のルールに従わない場合は、衝突を避けるために常に道を譲るべきです。

5.2 歩行者の優先権と白杖法

ドライバーは常に歩行者の安全を最優先しなければなりません。これには、信号が青に変わったとしても、横断歩道にいる歩行者に道を譲ることが含まれます。マサチューセッツ州には、視覚障害のある歩行者を追加で保護するための、白杖法（White Cane Law）という具体的かつ厳格な法律があります。

- ✓ 車道にいる歩行者には、常に道を譲らなければなりません。
- ✓ 白杖法では、盲目の歩行者（白杖や盲導犬を使用している）が道路を横断している場合、ドライバーは完全に停止し、その人が安全に横断し終えるまで停止し続けなければならないと定められています。

5.3 信号機のない交差点の通行方法

信号機のない交差点とは、交通標識や信号機が設置されていない交差点のことです。このような交差点に接近する際は、減速し、停止できるように準備しなければなりません。一般的なルールとして、右側からの交通に道を譲ります。

- ✓ 信号機のない交差点では、右側から交差点に進入してきた車両に優先通行権を譲らなければなりません。
- ✓ 左側の車両に対して法的な優先通行権がある場合でも、その運転者が道を譲ることを確認してから進むべきです。

5.4 四方向一時停止交差点のルール

四方向一時停止交差点は一般的ですが、分かりにくいことがあります。ルールは先着順に基づいています。2台の車両が同時に到着した場合、右側の車両に優先権があります。他のドライバーとアイコンタクトを取ることは、意図を確認するための良い習慣です。

- ✓ 四方向一時停止交差点では、最初に完全に停止した車両が次に進みます。
- ✓ 2台の車両が同時に四方向一時停止交差点で停止した場合、右側の車両に優先権があります。

5.5 マサチューセッツ州のロータリーの通行方法

ロータリーはマサチューセッツ州では一般的で、特定のルールがあります。交通は反時計回りに流れます。最も重要なルールは、ロータリーに進入する前に、すでにロータリー内を走行している車両に道を譲ることです。

- ✓ ロータリー内の交通は反時計回りに進みます。
- ✓ 標識や警察官による別の指示がない限り、常にロータリー内をすでに走行している車両に優先権を譲らなければなりません。

5.6 追い越される場合とマサチューセッツ州の「ムーブオーバー法」

他の車両に追い越される際、減速して右側を走行し、礼儀正しく安全を確保することが法的な責任です。さらに、マサチューセッツ州には、点滅灯をつけた停車中の緊急車両やレッカー車に接近する際に特定の行動を義務付ける「ムーブオーバー法」(Move Over Law) があります。

- ✓ 他の車両に追い越される場合は、減速して右側を走行しなければなりません。加速してはいけません。
- ✓ 「ムーブオーバー法」では、進行方向に2車線以上ある高速道路で、停車中の緊急車両に接近する場合、隣接しない車線へ安全に移動して進路を譲ることが義務付けられています。

5.7 Uターンに関する規則と制限

Uターンとは、進行方向を逆転させる180度の転回のことです。マサチューセッツ州では、安全を確保するため、特定の状況下でのUターンは違法とされています。最も重要な要素は視界です。他のドライバーに危険を及ぼさないよう、両方向を十分遠くまで見通せる必要があります。

- ✓ 丘の頂上付近やカーブではUターンをしてはいけません。
- ✓ 他のドライバーが500フィート先からあなたを確認できない場所でのUターンは違法です。

5.8 左折時の譲り合い

左折は対向車の進路を横切るため、危険性の高い操作です。したがって、左折する車両は、常に対向車、歩行者、自転車に道を譲らなければなりません。

- ✓ 左折する際は、まず対向車に優先権を譲らなければなりません。
- ✓ また、意図した進路を横断している歩行者や自転車にも道を譲らなければなりません。

5.9 私道や私有道路から公道へ入る場合

私道、私有道路、または未舗装の道路から主要な公道に出る場合、あなたに優先権はありません。必ず停止し、交通に安全な間隔ができるのを待ってから進行しなければなりません。

- ✓ 私道、私有道路、または未舗装の道路から舗装された本線車道に入る前には、完全に停止しなければなりません。
- ✓ 停止した後は、進入しようとしている道路をすでに通行している歩行者、自転車、車両に優先権を譲らなければなりません。

5.10 複数車線のロータリーでの車線選択

複数車線のロータリーでは、どの進入車線を選ぶかが出口によって決まります。正しい車線を使用することで、交通の流れがスムーズになり、ロータリー内での衝突を防ぐことができます。出口を逃した場合は、危険な直前の操作をするのではなく、もう一度周回してください。

- ✓ 4分の1回転または直進する場合は、右側の車線からロータリーに入り、右側の車線を走行してください。
- ✓ 4分の3回転またはUターンをする場合は、左側の車線から入り、内側の車線を走行してから、出口の車線に移動してください。

5.11 左側からの追い越しに関する規則

左側からの追い越しは、他の車両を追い越す際の標準的な方法です。対面通行の道路では、対向車線に入る必要があるため、対向車を妨げることなく安全に追い越しを完了するには、明確な視界と十分な距離が必要です。

- ✓ 追い越しのために黄色い破線を越える際は、前方が少なくとも400フィート先まで明確に見えなければなりません。
- ✓ 対向車が200フィート以内に近づく前に、右側の車線に戻らなければなりません。

5.12 右側からの追い越しが許可される場合

左側からの追い越しが標準ですが、特定の状況では右側からの追い越しが許可されます。これは通常、道路が同じ方向に進む複数の車線に十分な幅がある場合、または前方の車両が左折する場合に限られます。

- ✓ 追い越そうとしている車両が左折している、または左折しようとしている場合は、右側から追い越すことが許可されています。
- ✓ 一方通行の道路や、進行方向に2車線以上ある高速道路では、右側から追い越すことができます。

5.13 スリーポイントターン（三点旋回）の実行

スリーポイントターン（三点旋回）とは、Uターンができない狭い道路で車両の向きを変えるための方向転換技術です。道路全体を一時的に塞ぐことになるため、交通量が非常に少なく、見通しが良い場合にのみ行うべきです。開始する前に、交通に十分な間隔があることを確認しなければなりません。

- ✓ スリーポイントターンは、見通しが良く、交通量が少なく、私道（ドライブウェイ）のような他の選択肢がない狭い道路でのみ使用すべきです。
- ✓ スリーポイントターンを開始する前に、安全に方向転換を完了するために、交通に20〜30秒の間隔ができるまで待たなければなりません。

CHAPTER 6

Chapter 6: Rules of the Road -3

6.1 マサチューセッツ州におけるスクールバスのための停止

マサチューセッツ州の法律では、赤色灯を点滅させ、停止標識を出しているスクールバスまたは学童輸送車のために、すべてのドライバーが停止することを義務付けています。この規則は両方向の交通に適用されます。唯一の例外は、スクールバスが物理的な障壁で隔てられた中央分離帯のある高速道路の反対側にいる場合です。ライトの点滅が止まり、標識が格納されるまで停止し続けなければなりません。停止義務を怠った場合の初犯には、重大な罰則が科せられます。

- ✓ 進行方向に関わらず、赤色灯を点滅させ、停止標識を出しているスクールバスのために停止しなければなりません。
- ✓ スクールバス停止法に初めて違反した場合の罰則は、免許停止と250ドルの罰金です。
- ✓ スクールバスが、走行方向の間に障壁がある中央分離帯のある高速道路の反対側にいる場合は、停止する必要はありません。

6.2 作業区域内での速度超過に対する罰則

オレンジ色の警告標識で示されることが多い道路工事・保守エリアでは、作業員の存在や変化する道路状況のため、特別な注意が必要です。作業員の安全を確保するため、マサチューセッツ州法はこれらのエリアでの速度超過に対してより厳しい罰則を定めています。指定された「作業エリア」で速度超過の違反切符を切られた場合、罰金は2倍になります。

- ✓ 標識のある「作業エリア」で速度超過をした場合の罰金は2倍になります。
- ✓ オレンジ色の警告標識は通常、道路作業区域を示しており、そこでは減速し、歩いている作業員に注意を払う必要があります。
- ✓ 作業区域内では、掲示されている標識に注意深く従い、急停止や道路の方向転換に備える必要があります。

6.3 一般的な駐車規則と距離

車両を駐車する際は、安全と交通の流れを確保するために、州の特定の法律に従わなければなりません。車両は交通を妨げてはならず、他の車両が通過できるよう、最低限の明確な車道を確保する必要があります。また、縁石の近くに駐車しなければなりません。

- ✓ 駐車時、車両は縁石から12インチ以内でなければなりません。
- ✓ 駐車した車両の横を交通が通過できるよう、常に少なくとも幅12フィートの明確な車道を確保しなければなりません。
- ✓ 駐車した車両から離れる際、州法ではエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、イグニッションをロックし、キーを抜くことが義務付けられています。

6.4 坂道での正しい駐車方法

ブレーキが故障した場合に車両が車道に転がり出すのを防ぐため、坂道で駐車する際は前輪を正しい方向に向けてください。方向は、縁石があるかどうか、また上り坂か下り坂かによって異なります。

- ✓ 縁石のある上り坂で駐車する場合、前輪を外側、つまり車道側に向けます。
- ✓ 縁石のある下り坂で駐車する場合、前輪を内側、つまり縁石側に向けます。
- ✓ 縁石のない坂道で駐車する場合（どちらの向きでも）、前輪を内側、つまり道路の端側に向けます。

6.5 駐車禁止区域と罰金

公共の安全とアクセスを確保するため、多くの指定区域で駐車が禁止されています。これには、交差点、消火栓、横断歩道、バス停の近くなどが含まれます。これらの区域、特に公共交通機関や障害のある方のために確保された場所での違反には、高額の罰金が科されます。

- ✓ 交差点から20フィート以内には駐車できません。
- ✓ 消火栓から10フィート以内には駐車できません。
- ✓ 標識のあるバス停に駐車した場合は100ドルの罰金、障害者（HP-DV）用スペースに不法駐車した場合は初犯で300ドルの罰金が科されます。

6.6 道路における攻撃的なドライバーへの対応

攻撃的な運転には、スピード違反、あおり運転、割り込みなどの行為が含まれます。攻撃的なドライバーに遭遇した場合、安全が最優先です。そのドライバーに関わったり、挑発したりしてはいけません。代わりに、進路を譲り、目を合わせず、無視するように努めてください。状況が緊急事態だと感じた場合は、911に電話して州警察（State Police）に通報してください。RMV（車両登録局）は、攻撃的なドライバーが公共の安全に対する脅威と見なされた場合、裁判所の審理前であってもそのドライバーの免許を停止する権限を持っています。

- ✓ 攻撃的なドライバーに遭遇した場合は、進路を譲り、目を合わせないようにしてください。
- ✓ 攻撃的なドライバーが関わる緊急事態は、911に電話して州警察（State Police）に通報できます。
- ✓ 公共の安全に対する脅威と見なされた場合、RMVは裁判期日前に攻撃的な運転を理由にあなたの免許を停止することができます。

6.7 大型トラックとの安全な道路の共有

トラックやバスなどの大型車両の周りを安全に運転するには、その限界を理解する必要があります。大型車両には四方すべてに大きな死角があります。トラックのミラーが見えない場合、運転手からもあなたは見えません。満載のトレーラートラックは、乗用車の2倍の停止距離を要することがあるため、決して前に割り込んで減速しないでください。複数車線の高速道路では、トラックは右側2車線に制限されています。

- ✓ 満載のトレーラートラックは、乗用車の2倍の停止距離を要することがあります。
- ✓ 大型トラックの後ろを走行中にそのバックミラーが見えない場合、あなたは後方の死角で車間距離を詰めすぎていることになります。
- ✓ 複数車線の高速道路では、トラックやバスは通常、右側2車線の使用に制限されています。

6.8 路面電車（トロリー）付近での運転規則

州法には、路面電車の近くで車両を運転するための非常に具体的な規則があります。路面電車は線路上を走行し、急ハンドルを切ることができないため、ドライバーは特に注意する必要があります。路面電車が乗客のために停車しているときは、法的に定められた最低限の距離を保つ義務があります。また、接近してくる路面電車には道を譲り、その前で曲がってはいけません。

- ✓ 乗客の乗降のために停車している路面電車の乗客用ステップから8フィート以内に接近して運転してはなりません。
- ✓ 接近してくる路面電車の前で曲がってはいけません。路面電車の進路は線路に限定されており、衝突を避けるために急ハンドルを切ることができないためです。
- ✓ 道路を共有している路面電車と自分の車との間には、常に安全な距離を保ってください。

6.9 葬列の優先通行権に関する規則

葬列は交差点で優先通行権を持ちます。先頭車両が合法的に交差点に進入した場合、交通信号が赤に変わっても、残りの車両はそれに続くことができます。他の運転手は葬列に道を譲らなければならず、その進行を妨害することは禁止されています。たとえ自分の信号が青であっても、葬列の車両の間に割り込んだり、列に加わったり、交差点でその進路を横切ったりしてはいけません。

- ✓ 葬列は交差点で優先通行権を持ち、先頭車両に続いて赤信号や一時停止標識を通過することができます。
- ✓ 法執行官の指示がない限り、葬列の車両の間に割り込んで運転してはいけません。
- ✓ たとえ自分の信号が青であっても、交差点で葬列の進路を横切ってはいけません。

CHAPTER 7

Chapter 7: Rules of the Road -4

7.1 マサチューセッツ州の駐車禁止場所と罰金

マサチューセッツ州で駐車が違法となる特定の場所について詳述します。違反すると罰金が科され、免許や登録の更新が妨げられる可能性があります。消火栓や交差点からの特定の距離、バス停や障害者用スペースへの駐車などの違反に対する罰則を知ることが重要です。

- ✓ 交差点から20フィート以内には駐車できません。
- ✓ 消火栓から10フィート以内には駐車できません。
- ✓ 標識のあるバス停に駐車すると、100ドルの罰金が科されます。
- ✓ 障害者用スペース（HP-DV）に違法駐車した場合の罰金は、初犯で300ドルです。
- ✓ 「二重駐車」（駐車車両の列の隣の車線に駐車すること）は許可されていません。

7.2 自転車と道路を共有する際の自動車運転者の義務

一般的な衝突事故を防ぐため、自動車の運転者が自転車の近くを走行する際に負う特定の法的義務について説明します。これには、安全な追い越し距離、優先通行権の譲歩、および「ドアリング」事故の防止に関する規則が含まれます。安全のために「ダッチリーチ」が重要なテクニックとして強調されています。

- ✓ 自転車を追い越す際、自動車運転者は少なくとも4フィートの安全な距離を保たなければなりません。
- ✓ 接近してくる自転車に対して車両のドアを開けた場合、運転者および同乗者は最大100ドルの罰金を科されることがあります。
- ✓ 左折する際、運転者は他の自動車に対してと同様に、対向してくる自転車に優先通行権を譲らなければなりません。
- ✓ ドアを開ける前に接近してくる自転車を確認するため、「ダッチリーチ」（ドアから遠い方の手でドアを開ける方法）を実践してください。

7.3 坂道での正しい駐車方法

縁石の有無にかかわらず、坂道で駐車する際に車両が車道に転がり出ないようにするための正しい手順を説明します。これには、パーキングブレーキをかけ、車両を正しいギアに入れ（オートマチック車はパーキング、マニュアル車はギアに入れる）、縁石と坂の向きに応じて前輪を適切な方向に向けることが含まれます。

- ✓ 縁石のある上り坂で駐車する場合は、前輪を外側、つまり車道側に向けてください。
- ✓ 縁石のある下り坂で駐車する場合は、前輪を内側、つまり縁石側に向けてください。
- ✓ 縁石のない坂道で駐車する場合（上り坂、下り坂を問わず）、車輪を内側、つまり道路の端側に向けてください。

7.4 歩行者の規則と安全責任

マサチューセッツ州で歩行者が自身の安全のために従うべき規則の概要です。これには、利用可能な場合は横断歩道や歩道を使用すること、歩道がない場合は道路の正しい側を歩くことが含まれます。ドライバーは歩行者の行動を予測するために、これらの規則を認識している必要があります。

- ✓ 州法では、横断歩道が利用可能な場合、歩行者はそれを使用することが義務付けられています。
- ✓ 歩道がない場合、歩行者は対向車に面して路肩を歩くべきです。
- ✓ 歩行者は、高速道路、州間高速道路、または有料道路に沿って歩いたり、横断したりしてはなりません。

7.5 自転車利用者の交通法規と装備要件

自転車利用者に適用される交通法規を詳述します。自転車利用者は一般的に自動車の運転者と同じ権利と責任を有します。これには、車線の使用、合図、および夜間走行用のライトや若年者用ヘルメットなどの必要な安全装備に関する規則が含まれます。

- ✓ 16歳未満の自転車利用者は、認可されたヘルメットを着用しなければなりません。
- ✓ 日没の30分後から日の出の30分前まで、自転車は500フィートから視認できる白色の前照灯と、600フィートから視認できる赤色の尾灯または反射器材を備えなければなりません。
- ✓ 自転車利用者は停止または方向転換の意思を合図で示さなければなりませんが、安全な操作のために両手が必要な場合は、合図を継続する必要はありません。
- ✓ 並進できる自転車は2台までであり、複数車線の道路では単一の車線内にとどまらなければなりません。

7.6 自転車ボックスと分離自転車レーンの理解

自転車ボックスや分離自転車レーンなど、自転車利用者の安全のために設計された現代の道路インフラについて説明します。ドライバーは、自転車利用者との衝突を避け、交通法規を遵守するために、これらの標示がある交差点への適切な進入方法と停止方法を知っておく必要があります。

- ✓ 自転車ボックスのある交差点では、たとえボックスが空であっても、自動車は緑色の自転車ボックスの手前、白色の停止線の後ろで停止しなければなりません。
- ✓ 分離自転車レーンを横切って右折する場合、ドライバーは横断中の歩行者や自転車利用者に道を譲らなければなりません。

7.7 その他の違法な運転および道路上の行為

マサチューセッツ州で車両を運転中または道路上で行われるさまざまな違法行為を対象としています。これらの規則は、安全、環境保護、および公衆への迷惑行為に対処するものであり、レース、ゴミのポイ捨て、車両の排気システムの改造の禁止などが含まれます。

- ✓ ドラッグレースや賭けを目的とした運転は違法です。
- ✓ 車からゴミ、ガラス、火のついたタバコを投げることは禁止されています。
- ✓ 自動車のマフラーシステムをバイパスまたは切除することは違法です。

CHAPTER 8

Chapter 8: Special Driving Situations

8.1 移動中の緊急車両への対応

緊急車両（消防車、救急車、パトカー）がサイレンを鳴らしたり、警告灯を点滅させたりしてどの方向からでも接近してきた場合は、進路を譲らなければなりません。そのためには、道路の右端に車を寄せ、車両が通過するまで完全に停止する必要があります。また、出動中の緊急車両に接近しすぎて追従することも違法です。

- ✓ 警告灯やサイレンを作動させて接近してくる緊急車両に対しては、道路の右側に車を寄せて完全に停止しなければなりません。
- ✓ 警報に対応して出動中の緊急車両の後方300フィート以内で追従することは違法です。
- ✓ 交差点内で緊急車両が接近してきた場合は、まず交差点を通過してから、道路脇に寄せて停止してください。

8.2 マサチューセッツ州の「ムーブオーバー法」

マサチューセッツ州の「ムーブオーバー法」は、点滅灯を点灯させて停止している緊急車両、高速道路維持作業車、またはレッカー車に接近する際の特定の行動を義務付けています。ドライバーは、合理的で安全な速度まで減速しなければなりません。同一方向に複数の車線がある高速道路では、安全であれば、停止車両のすぐ隣ではない車線に移動することが求められます。

- ✓ 点滅灯を点灯させて停止している緊急車両に接近する際は、状況に応じて合理的で安全な速度まで減速しなければなりません。
- ✓ 進行方向に少なくとも2つの車線がある高速道路では、可能であれば、緊急車両に隣接しない車線に移動して進路を譲らなければなりません。
- ✓ 車線変更が不可能または安全でない場合でも、大幅に減速し、注意して通行しなければなりません。

8.3 職務質問時の書類不携帯に対する罰則

マサチューセッツ州での交通検問中、警官から要求された場合、運転免許証と車両登録証を提示することが法的に義務付けられています。これを怠ったり、虚偽の情報を提供したりすると、特定の罰金が科され、より深刻な罪に問われる可能性があります。

- ✓ 警官の要求に応じて免許証または登録証を提示しなかった場合の初犯の罰金は35ドルです。
- ✓ 警察官に偽の名前や住所を伝えた場合、100ドルの罰金が科され、逮捕される可能性があります。

8.4 火災現場付近での運転および駐車の制限

救急隊員および公衆の安全のため、マサチューセッツ州法は火災現場付近のドライバーに対し、厳格な距離制限を設けています。火災現場から指定された距離以内で運転または駐車することは禁止されており、当局者による指示がない限り、保護されていない消防ホースの上を走行してはなりません。

- ✓ 火災現場から800フィート以内で車を運転したり駐車したりすることは違法です。
- ✓ 消防士または公安職員から指示されない限り、保護されていない消防ホースの上を走行することはできません。

8.5 警察による交通停止時の適切な手順

警察官に停止を指示された場合、安全に道路の右側に車を完全に寄せて停止しなければなりません。安全を確保するため、車内に留まり、夜間は室内灯をつけ、両手は見える場所に置き、警察官が書類を要求するまで待ってから、それらを取り出すようにしてください。

- ✓ 警察官に停止させられた際は、車から出るよう指示されない限り、車内に留まらなければなりません。
- ✓ 交通停止が夜間に行われた場合は、車内の天井灯をつけるべきです。
- ✓ 警察官が免許証と登録証を要求するまで待ってから、グローブボックスなどに手を伸ばしてください。